

名古屋文化キンダー ほると ニュース



88

Winter 2025

発行日 * 2025年1月1日
発行所 * 社会福祉法人 名古屋文化福祉会
児童養護施設 名古屋文化キンダーホルト
キンダーホルトをささえる会 会長 金田 綾子
住 所 * 〒480-1103
愛知県長久手市岩作琵琶ヶ池50-1
TEL * 0561-62-4728
FAX * 0561-62-4736
E-mail * kinder@coast.ocn.ne.jp
HP * <http://kinderhort.jp/>

抱負を抱負で終わらせないように

園長 岩 田 正 人

新年あけましておめでとうございます。昨年は皆様方のご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。本年も皆様にとって幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年は大谷翔平選手の素晴らしい活躍に心躍らせた一年でもありました。前人未達の「50 本塁打 - 50 盗塁」や大リーグ史上初の3年連続の MVP など数多くの偉業を達成していました。

その大谷選手が高校時代に書いたノートが、先日テレビで紹介されていました。そのノートには、『人生が夢をつくるんじゃない、夢が人生をつくるんだ』と力強く書かれ、そして「人生設計シート」という目標を実現させるために9×9マス目の表をつくり、当時の大谷選手の目標であった「ドラフト1（位指名）8球団（から）」という目標を中心に置き、それを達成するために何が必要なのかという要素として「体づくり」「コントロール」「スピード160km」「人間性」などの8つを挙げているものでした。

我々の子どもと関わる領域で、いま、求められていることとして専門的な知識や技術などの専門性の向上があります。一方で、それと同時に大谷選手のように、目的達成のためには人間性を高めていくことが大切ではないかと改めて考えさせられる機会でもありました。

新年を迎え、それぞれが今年一年の抱負という考える機会があろうかと思います。その心のなかで抱いた決意や計画を、抱負を抱負で終わらせないように、言葉にしたり、大谷選手のようなシートにしてみてもいいのではと思います。

今年もキンダーホルトでは、職員みんなで、子どもたちみんなの健やかな成長を願い、安心して暮らせる環境を提供するために、一丸となって取り組んで参ります。引き続き皆様方の温かいご支援を賜りながら、一人ひとりの未来を共に築いていけることを願っております。

長年、子どもの支援を担って頂いてきた白石雄二が今年度末を持ちまして定年退職となりますので職員として勤務していた事を振り返ってもらいました。

退職を前にして思うこと

白石雄二

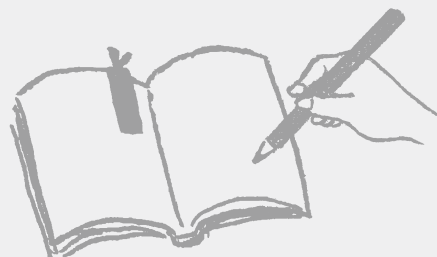


執筆時点で、ホルトでの生活も残り4か月となりました。ホルト設立時のスターティングメンバーの最後の一人としてホルトの歴史にかかわり続けられたことを率直に、大変誇りに思っています。在職期間は40年。働いた期間は半世紀近く、よく働き続けられたものだと自分でも感心すると同時に、自分がこれまで生きた時代の移り変わりを思い出し、長いようで短い間でも世の中はこんなにも変わっていくのだという感動も覚えています。そして、何もわからず不安を感じながらも、自分が理想とする職場を作りたいという気概を持ってスタートし、これまでその気持ちを維持し続けることができたのは本当に幸せなことだと思っています。これは自分にかかわってくれた方々のおかげでもあります。

一方で、やり残したことや満足できていないことも多くあります。その一つに子どもたちの養育についてがあります。子どもたちの養育については未だに納得のいくことができる自分にはなれませんでした。一つの業種を務めあげることが考える視点の狭さを作り上げてしまう罫があり、この子に何をしてあげられるのか、それぞれが生きていることが楽しいと思える世界を作るためには何が必要なのか、わからないことが多いままです。しかし、それだからこそ生きることとはという自分の命題に向き合うことができ、職務を通して人生の意味について考え続けることができたことは結構すごいことだと自分で思っていることにもつながっているのですが。

このようなことを思いながら、退職後についても考えます。ホルトを退職した後どのように過ごすかはまだ具体的に決まっていますが、現時点でやりたいことは、子どものころ一日中蝉捕りをして過ごしても飽きなかったあの感覚がどういうことだったのかちゃんと理解する。というようなことだったりします。人間らしく生きること、自由であることなど自分が満足できる理解をしたいことがたくさんあるのです。そのようなことをひとつずつやっていきたいと思っています。何かしらの仕事もちゃんとしようと思っています。退職というせっかくの機会ですから、児童養護施設とは違う視点で働ける仕事を考えています。

人生のステージごとに大事に思うことや、望むこと、できることは変わっていきますが、トータルでいい人生を送るということがどんなことなのか、自分を使って実験し続けていきたいと思います。そして、自分が大切だと思うことや、伝えたいと思うことを人生の後輩に繋げていけたらなお幸せです。



行 事 報 告

・ やす子さん来所 ・

今年の24時間テレビでやす子さんが児童養護施設を掲げてマラソンを走ると知り、元々24時間マラソンに興味があった事と自分も児童養護施設を多くの方たちに知ってもらいたいという思いがあったことから、チャリティーランナーに応募をしていました。残念ながら当日は台風で企画は中止になってしまいましたが、募金がどういった形で使われているかの特番で施設の訪問をしたいとスタッフさんの方から連絡をいただきました。キンダーホルトの雰囲気や考え方に共感していただき、10/10実際にやす子さんが来所されました。子ども達にはサプライズでの来所だったため登場した瞬間に「わ～！」と子ども達からは歓声が挙がりました。今回24時間TVでのマラソン企画で集まった募金を全国の児童養護施設のために使って頂けると



言うことで、子ども達と何がいいか話をしました。タブレット、サッカーボール、TV、車……。また寄付の品が届くのを子ども達と楽しみにしています。

(保育士 石原沙姫)

・ 釣り合宿 ・

10月22～24日で現在、不登校に悩んでいる中学生2人と今後の進路に悩んでいる高校生1名と職員3名で一時期不登校だったが、今は三重県尾鷲市で漁師として立派に働いている卒園生に会いに行きました。彼の不登校時の思いを聞きながら、今後の仕事の考え方の幅を広げ、なおかつ人里離れた落ち着いた環境で、ゆったりとした時間を過ごししながら田舎暮らしの良さを感じてもらうのをテーマに出掛けて来ました。

当日は天気も心配されましたが、雨の時は家でゆっくり話をしながら過ごしたり、雨が止んだら釣り竿を持って、気ままに釣りをしたり、ゆっくりとした時間を過ごす事ができました。子どもたちも釣った魚やイカを捌きながら、自分で食べる物を捕るという貴重な体験も出来ました。子どもたちからは、「また次回もどこかで釣りしたい」と話が挙がり大盛況でした。職員も久しぶりに卒園生に会い、不登校だった彼が頑張っている姿に感動し、職員も子どもともに元気を貰えた企画でした。今後もこのような職場体験に絡めたお出掛けが出来れば、通常の枠に捉われない自立に向けた支援が可能になると思いました。



(個別対応職員 武藤佑太)

・ ホルトまつり ・

今年もホルトまつりを開催することができ、とても嬉しく思います。準備から、職員も子どももお世話になっている方々に感謝の気持ちが伝えられるよう、やり取りしている姿が印象的でした。当日は、たくさんの方にホルトまつりに来ていただき、日々支えられていることを実感することができました。昨年度はなかった太鼓の発表やトーチトワリングの発表もすることができ、子どもたちの頑張っている姿を様々な角度から見ていただけたと思います。来年度もより良いホルトまつりが開催できるよう努めていきたいと思っています。



(保育士 柴田花奈美)

・ フットサルを通して ・

キンダーホルトのフットサルチームは「株式会社バンフスポーツ」様と「名古屋オーシャンズレディース」様のご厚意のもと、無償で月に一度市内の愛知フットサルクラブにて練習させていただいております。ご支援をいただくことになったきっかけは、現在名古屋オーシャンズレディースのキャプテンとして活躍している赤川真白選手が当施設の出身であったためです。

その練習では、山田コーチがみんなを楽しめる練習を展開してくれています。

子ども達のフットサルにかける熱量もすさまじく、毎回多くの子ども達が参加してくれて、小学生も中高生も職員もみんな混ざって、白熱した試合を展開してくれます。

練習中も「フットサル楽しかった!」「シュート決めたよ!」「ドリブル上手になりたい!」「もっと試合したい!」など、活気のある声が次々と聞こえてきます。

今年もフットサル大会へ向けて、日々大きな成長を見せてくれていることに、監督として期待に胸を膨らませています。

(保育士 米倉浩太郎)



子どもたちが笑顔でフットサルしてくれるのが一番嬉しいです。

ホルトのみんなは練習を重ねていくことで最初より上達していて、試合でも失点するとポジティブな声掛けをするなど、逆に自分自身勉強になってこれからも頑張ろう!と思えます。

(卒園生 赤川真白)

ご寄付・ご寄贈・ご招待ありがとうございます

いつも多くの方より「キンダーホルトをささえる会」へご支援賜り、ありがとうございます。

令和6年9月から令和6年11月までに、「ささえる会」へのご入金・品物のご寄贈・イベントなどへご招待くださいました方々をご紹介しますとともに、この場を借りてお礼申し上げます。

(順不同・敬称略)

「ささえる会」 へのご入金

澁谷正臣
服部良信
相羽美智子
池田和永
鈴木由美子
吉澤勇也
荒川諒太
土井春樹
河野美紗
森晶子

サトウサオリ
三井ひかる
山吹淑子
永野千津
北川好郎
山内渉
ジョンジナ
貝川直子
五輪秀朗
宮澤和俊

加藤規江
NPO法人イエローエンジェル
高見澤忠
松原美苗
古賀めぐみ
鈴木
住マイルワン(株)
匿名2名

寄贈・招待

(株)名古屋食糧(中区)／お米
丸大産業(株)(中村区)／月刊グラン
三好丘緑フード・バンク支援センター(みよし市)／食品
高見澤忠・幸恵(長野県)／野菜
高比良誠(長久手市)／菓子、野菜、絵本等
北川好郎(長久手市)／絵本、菓子
匿名／衣類
吉本エレナ(岐阜県)／菓子、お茶
(株)包む(東京都)／ラッピングペーパー等
(株)チュチュアンナ(大阪府)／靴下
NPO法人The Music Restaurant(東区)／ゴーヤ
(株)ハートリフォーレ(尾張旭市)／壁面飾り
渡辺由香(日進市)／雑貨
鈴木湧太(長野県)／菓子
(株)フレーベル館(東京都)／絵本
杉原(瀬戸市)／プール、服
匿名／菓子、傘
代口愛香(天白区)／食品
匿名／手作り袋物
渡辺美代子(弥富市)／菓子
ソフィアキリスト教会(長久手市)／クリスマスカード等
コストコホールセール守山倉庫店(守山区)／布団乾燥機等
(株)STAR PEACE(豊山町)／衣類
田中尚己(守山区)／掃除機等

(株)Chalkone(長久手市)／じゃがりこ
匿名／菓子、おもちゃ
東小学校区体育委員(長久手市)／菓子
戸田宣寛・時江(長久手市)／お米
松原美代子(長久手市)／さつまいも、自転車
まねき寿司(西区)／果物
近藤眞由美／文房具
森晶子／遊具、本等
日本特殊陶業(株)(瑞穂区)／マグボトル
土井理美／絵本
匿名／お米
(株)ユーザン(長久手市)／菓子
愛知県信用農業協同組合連合会(中区)／お米
中部善意銀行(中区)／菓子
匿名／みかん
全国シャンメリー協会(東京都)／シャンメリー
秋田良枝(豊山町)／柿
松葉千恵美(日進市)／本
匿名／プリン、チョコレート

